

令和2年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和2年10月6日(火) 13:30～14:30

2 開催場所 青森市中央市民センター

3 対象施設 青森市古川市民センター

4 出席者

(1) 選定評価委員会 委員長 小野 正貴(企画部次長)
副委員長 大久保 文人(総務部次長)
委員 森 宏之(青森大学教授)
委員 古川 司(東北税理士会青森支部税理士)
委員 工藤 哲也(税務部次長)
委員 佐々木 浩文(都市整備部次長)

(2) 施設所管課(中央市民センター) 館長 渡邊 薫
主幹 山内 文博
主幹 穂元 学

(3) 制度所管課(財政課) 副参事 鈴木 健司
主幹 熊谷 圭介
主査 吉田 敏和
主事 前田 泰仁

5 案件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 青森市古川市民センター管理運営協議会
- ・住所 青森市古川三丁目7番14号
- ・代表者 会長 千葉 滋

(2) 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・最低得点（75点）を上回る点数（103.54点）を獲得していること。
- ・「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数の合計（60点）以上の点数（81.35点）を獲得していること。

7 主な質疑内容

(委員)

事業計画書の管理運営方針の中で新型コロナウイルス感染症対策を行うとあるが、具体的に従来と違う部分はどこか。

(応募団体)

密を避けるため来館者の受付場所を事務室内から事務室前に変更した。また、業務員による徹底的な消毒や貸室の定員を削減するなどの対策をとっている。

(委員)

プール等の使用について回数を増やすなど積極的に活用することだが、感染症対策の面でどのような対応を考えているのか。

(応募団体)

入館時のマスクの着用、アルコール消毒の実施等を依頼するとともに、密になりやすい更衣室については、一度に利用できる人数を5人までとし、ロッカーの間隔をあけて使用することとしているほか更衣室内の消毒を徹底している。

(委員)

入館者に対して検温は行っているのか。

(応募団体)

入館前に体温の測定を含め体調を整えることを周知徹底し、チェックリストにより体調をチェックしたうえで活動してもらっている。

(委員)

協議会費の中にマイナンバー管理料とあるが、どういったものか。

(応募団体)

給与の積算等を社会保険労務士にお願いしている関係で、マイナンバーカードを事務所に預けることから、その使用料である。

(委員)

講座のニーズの把握はどのように行っているのか。

(応募団体)

館内に意見箱を設置したり、日頃から利用者とコミュニケーションをとるなどして情報収集し、今後に向けての参考としている。

(委員)

業務員の時間単価は統一して決めているわけではないのか。

(施設所管課)

人件費は提案してもらった内容であり、応募者が適宜判断して決めている。

(委員)

新型コロナウイルス感染症対策の経費が増えるものと思っていたが、特に変わらないようであり大丈夫なのか。

(施設所管課)

今年度は消毒やチェックシート等のための用紙代を補正予算で対応している。来年度以降もこのような状況が続くようであれば、必要な予算を加算すべく対応したい。